

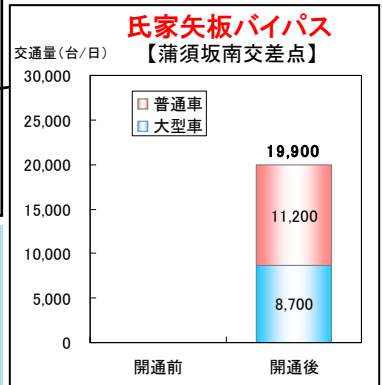
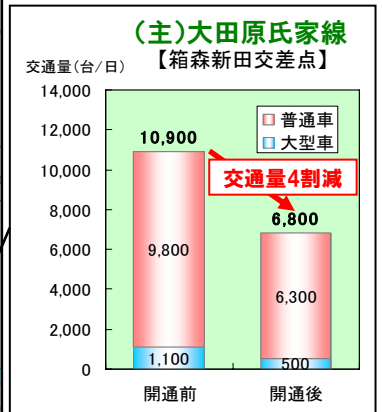
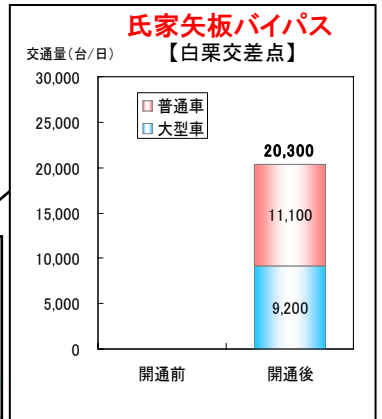
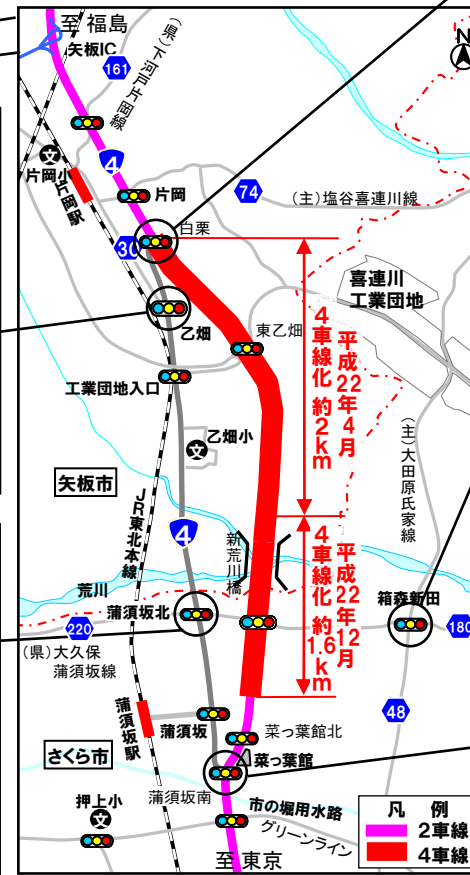
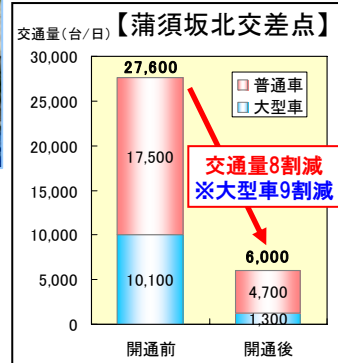
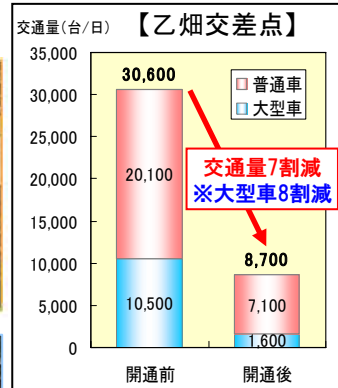
# 現道とバイパスとの機能分担により、地域住民の安全性・快適性が向上

- ・開通した氏家矢板バイパスに交通が転換し、並行する一般国道4号(現道)や県道の交通量が約4～8割減少しました。
- ・大型車交通量は約8～9割減少し、現道とバイパスの機能分担が図られ、地域住民の安全性・快適性が向上しました。
- ・氏家矢板バイパスは物資輸送を円滑化し、喜連川工業団地をはじめとした産業振興にも欠かせない道路です。



## 【沿線関係者の声】

- 以前は学校の通学路の交通量、特に大型車が非常に多く、子供たちの交通事故を心配していたのですが、バイパス供用後は交通量が減って安心していきます。(学校関係者)
- 現道の交通量が減少したことにより、生活道路としての利便性・安全性が確保された。また、夜が静かになり、大変喜んでます。(現道自治会関係者)



開通前:平成21年6月23日(火)  
開通後:平成22年7月6日(火)